

第358回 関東の柳川 佐原の町めぐり

6K

日 時	R7 年 10 月 10 日 (金) 10 時 30 分					役員が旗を持ち誘導します。
集合場所	JR 佐原駅 南口より徒歩 10 分 佐原公園 (伊能忠敬銅像あり)					
	京成本線利用集合時間到着最終電車時刻は下記の通りです。					
	京成船橋駅	成田駅	佐原駅	片道 1,070 円	(IC カード 1,061 円)	
	8 : 42	9 : 22		京成本線芝山千代田行		
		9 : 40 (5 番線)	10 : 10	JR 成田線銚子行		
帰り	佐原駅発 成田・千葉方面 (上り)					
	12 : 53	13 : 51	14 : 52	15 : 56	16 : 58	

(コース) 佐原公園 $\xrightarrow{5分}$ 諏訪神社 $\xrightarrow{30分}$ 伊能忠敬記念館前～国選定保存区～伊能忠敬旧宅 $\xrightarrow{5分}$ 佐原町並み交流館 $\xrightarrow{5分}$ 八坂神社・山車会館で解散 12 時頃

佐 原

佐原はかつては利根川の水運を利用して江戸への集積地として栄える。小野川に架かる忠敬橋付近は古い商家や蔵など江戸時代の風情が残されている。

佐原市は周辺の町と合併し香取市となる。

佐原公園

園内は桜の名所。伊能忠敬の銅像がある。公園は諏訪山と呼ばれる小高い丘の上に広がり、展望台からは市街、利根川等を一望できる。

諏訪神社

小野川より西側。新宿の鎮守。市史によると伊能家の氏神として奉還（成田市伊能）したのが始まりといわれている。現在の社殿は 1853 年の造営で神域には琴平神社、市守社、松尾神社等、佐原の歴史に深く結びついた史跡が多くあります。

伊能忠敬

{1745 年～1818 年} 江戸時代の地理学者。元々は醸造業等を営む商人であったが 50 歳で隠居し、天文・暦法を学んで蝦夷を実地測量、55 歳の時から 16 年がかりで実測日本地図（伊能図）を完成。伊能忠敬館は忠敬 180 年を記念して平成 10 年のオープン。測量器具地図等を展示、入館料 500 円。旧宅には 30 年余りを過ごした母屋と店舗の一部がのこされている。

八坂神社

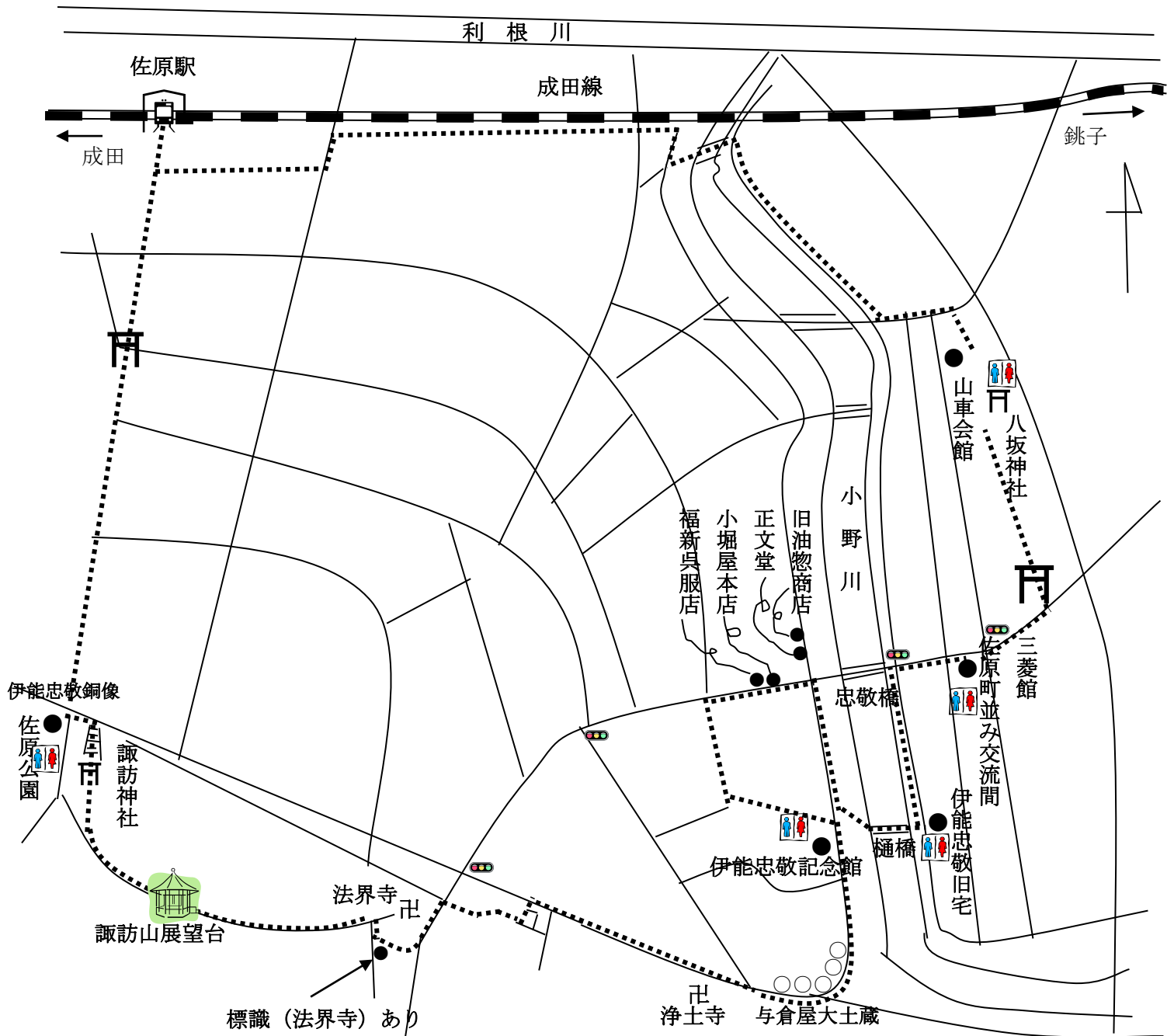
小野川より東側の鎮守。諏訪山天王台に鎮座していた牛頭天王社を江戸初期現在地に遷宮。明治の神仏分離時、八坂神社と改名された。現在の社殿は明治 20 年の建築。境内には「山車会館」があり

山車会館

佐原祭に繰出す豪華な 24 台の山車のうち常時 2 台が展示される等、各種の企画展示室がある。

下 見 R.7.8. 26(火) ☀ 原、四宮、上杉

先 頭 (2 班) 原 (加藤、熊谷) 前後監視：吉田 (1 班) 四宮 (田中、美濃輪) 最後尾：上杉
船 橋 市 い き い き 同 窓 会 「 歩 こ う 会 」



「白い花の咲く頃」

寺尾智沙作詞・田村しげる作曲

白い花が 咲いていた

ふるさとの 遠い夢の日

さよならと 言ったら

黙って うつむいていた

お下髪(さげがみ)

悲しかった あの時の

あの 白い花だよ

白い雲が 浮いていた

ふるさとの 高いあの峰

さよならと 言ったら

こだまが さよならと

呼んでいた

淋(さみ)しかった あの時の

あの 白い雲だよ

白い月が 泣いていた

ふるさとの 丘の木立(こだ)ちに

さよならと 言ったら

涙の眸(ひとみ)で じっと

みつめてた

悲しかった あの時の

あの 白い月だよ